

## 意見交換会の開催記録

対象とする施策の内容	市民活動促進基本計画の策定について
開催日時・開催場所	平成 20 年 1 月 16 日（水）18:30～19:30 清水興津公民館 第 1 会議室
参加者数	39 名（委員 6 名、市民 32 名、報道関係者 1 名）
議 題	市民活動促進基本計画（案）について
意見交換会の概要 （市民意見の概要等、市民 意見に対する実施機関の考 え方など）	別紙のとおり
担 当 課	生活文化局市民生活部市民生活課 電 話 0 5 4 - 2 2 1 - 1 2 6 5 ファクシミリ 0 5 4 - 2 2 1 - 1 5 3 8 電子メールアドレス seikatsu@city.shizuoka.jp

静岡市市民活動促進基本計画（案）に係るタウンミーティング 意見交換の記録

と き 平成 20 年 1 月 16 日（水）18:30～19:30

ところ 清水興津公民館 第 1 会議室

人数 39 名（委員 6 人、市民 32 名、報道関係者 1 名）

質問：この計画で、何をしていきたいのかがわからない。策定に携わった委員のみなさんが、この計画に込めた気持ちを聞きたい。

委員：ボランティア講座や情報の収集提供などもそうだし、ボランティア活動を薦めるとか、団体が困っているときに応援するとか、いろいろなことが考えられる。

委員：20 年ほどボランティア活動に携わっています。市民ニーズのレベルが上がる一方で財政は悪化していて、税金を払うか、自分たちでやるかという選択を迫られていると思います。そのような中で、市民が参画する権利の保障を求めてきたし、見過ごされがちな課題を取り上げるのが市民活動であるということを取り入れてもらいました。

事務局：地域の NPO が主催する歴史講座は、まさに市民活動だと思います。このような活動が、まちづくりなど次の活動につながるようサポートするのがこの計画の狙いの一つであると思います。

質問：参加者が少ないようだが、タウンミーティングは、どの程度、PR したのでしょうか。

回答：広報しずおかに掲載するとともに、市内 400 団体に案内を送付しました。

質問：答申には具体的施策が書いてありますが、計画案には書いてありません。実行計画など別につくるのでしょうか。市として、どの程度、やる気があるのでしょうか。役所の中の気運を高めてほしいと思います。

意見：企業現役世代の参加の促進に取り組んでほしいと思います。特に、社員が活動しやすいような企業の配慮が大事です。そのようなサポートをしている企業数を、指標として採用するようにしてください。具体的な施策として、ボランティアの参加人数の多い企業を顕彰するなどが挙げられます。また、企業に求める前に事業所の一つとして、市が率先して、取り組むべきだと思います。

意見：次のような話を聞いたことがあります。社員のボランティア活動に理解のある社長がいる企業があり、実際に盛んなのですが、外部の人がそれを取り上げて PR しようとした

ら、「ボランティア活動が盛んということが上部の会社に知れたら、商品を安くする方への力を注ぐようプレッシャーをかけられてしまうのでやめてほしい」と言われたということでした。それが、実態だと思います。

意見：財政的支援として、NPOへの寄付に対する優遇税制の拡大に取り組んでほしいと思います。直接寄付する際に優遇されるには認定NPO法人になるしかないが、市を経由する方法を他で採っていると聞いたことがあります。

意見：社会福祉協議会を経由する方法は、すでにできています。

意見：指定管理者になると、営利事業にみなされて、直ちに課税対象になってしまいますが、営利のためにやっているのではないので課税対象にならないよう研究をお願いします。